



子ども科学館の今後の方向性について

「進風会」山田 昌紀

Q 子ども科学館の今後の方向性について、どのような考えなのか、聞きたい。

A 【教育部長】 子ども科学館の建物は建築基準法上の用途を博物館としていたため、博物館以外の施設として活用する場合には、用途変更に伴う改修費が発生する。博物館の用途以外の活用を含めた多機能化を進めるためには、行政センター地区全体の再編の中で、活用方法と改修経費をトータルで検討する必要があるため、現時点では当面、



災害時の医薬品災害協定締結を

「いせはら未来会議」橋田 夏枝

Q 医療用医薬品の供給不足が全国的に問題になっている。市民の命を守る上でも、医薬品における災害協定を関係者と市があらかじめ結んでおくことが大切になると思うが、見解を聞きたい。

A 【危機管理担当部長】 災害に備えて、あらゆる疾病に対応する医薬品の需要に対して、市が公的備蓄を行うことは困難と言わざるを得ない。しかしながら、令和5年度に、市の薬剤師会と行っ

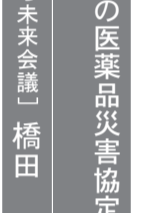


子どもと保護者に寄り添った発達支援体制の充実を

「日本共産党」川添 康大

Q 乳幼児健診で指摘された後、ずっと不安を抱えながらも、親がどこに相談すればいいかわからなくなってしまうという声を何人もから聞いた。健診での指摘後のフォロー体制が必要と思うが見解を伺う。

A 【子ども部長】 健診後のフォロー体制の中で、一つ考えられるのが、保護者同士の交流の場を設けるといったところがある。発達相談を受けた人の中には、発達の遅れに関する見極めがさらに必要と



た意見交換や情報交換の場において、災害時における多様な医薬品の確保について、双方とも重要な課題として受け止めている。

Q 【危機管理担当部長】 今後本市においても、薬剤師会や関係部署と協議し、関係法令との整合を含め、卸売業者との協定の可否について調査研究をしていきたいと考えている。

◎その他の質問 【さらなる循環型社会を構築するために



防災DXを活用した災害対策で市民の安全安心の向上

「公明党」今野 康敏

Q 本市においても先進的なアプリを導入し、防災DXを活用した災害対策を進め、市民の安全安心につなげていくべきと考えるが、見解を伺う。

A 【危機管理担当部長】 防災DXのメリットは、デジタル技術の活用により地域住民への防災情報の提供や被災者支援等の災害対策業務を迅速かつ効率的に実施でき、市民の安全確保や利便性の向上につながることにある。あわせて、限られた職員で災害対応に当たつながら業務の省力化につながる効果も期待でき



特命を受けた再任用職員による具体的な実績は

「志政会」前田 秀資

Q 特命を受けた再任用職員による具体的な実績について聞きたい。

A 【企画部長】 特命担当は、複数の部署に係るさまざまな課題に対応するため、令和5年度4月から配属されている。特命担当が行っている担当の一部には串橋における看板の撤去に係る訴訟への対応、地域での街宣行為への対応、農地造成に係る神奈川県や庁内の調

整などがある。街宣行為については、地域の方からの情報収集や相談にしっかりと応じており、警察や神奈川県との協議をしている。特命担当は、担当業務に積極的に対応しており、配置した実績については十分得られているという認識である。

◎その他の質問 【地域文化(資源)の活用について



いせはらの未来に向けたアート(芸術)政策について

「進風会」荻野 貴文

Q 地域経済のためにアートをどのように活用しているかについて伺う。

A 【教育部長】 本市には、日向石や大山こま、日本遺産を形づくる数多くの有形、無形の文化財など、これまでアート、芸術文化に積極的に活用されて

こなかった地域資源が豊富にある。今後は、地域経済への波及効果も意識しながら、こうした数々の地域資源をアート、芸術文化という切り口での活用を図るべく関係各所と連携を強化していきたいと考えている。



馬渡交差点の安全対策について

「志政会」米谷 政久

Q 県道61号と都市計画道路西富岡馬渡線の接続地点の交差点は、非常に危険である。都市計画道路を整備し、馬渡交差点の交差を変えることがよいと考えるが、市の見解を聞きたい。

A 【土木部長】 馬渡の交差点の県道に接続する2つの市道は、交差する部分にずれが生じており、目違いの状況となっている。交差点の目違いを解消



基幹相談支援センターの民間委託で効果が高まるか

「志政会」越水 崇史

Q 基幹相談支援センターを民間委託にすることで、職員の負担も軽減され、市民への相談効果も高くなる可能性もあると考えるが、市の見解を聞きたい。

A 【保健福祉部長】 障がい者の相談支援体制については、個別のケースに対する相談支援のほか、さまざまな地域課題の整理等を行う基幹相談支援

するためには、2つの市道と県道への接続位置を合わせる必要があるが、現状の都市計画法で決定されている西富岡馬渡線の計画位置においても、既存の市道76号線とは目

違くなる計画であるため、将来的な西富岡馬渡線の整備に合わせ、交差点の安全対策を図ってきたいと考えている。

◎その他の質問 【河川環境について

センターの機能および運営が大変重要となる。引き続き関係機関と連携し、中核的な役割を担う人材および専門性の確保に取り組みながら、民営化を視野に入れた基幹相談支援センターの運営について協議、研究を行っていききたい。

◎引きこもり支援について

### 市議会ホームページをリニューアルしました。



このたび、ホームページをより使いやすく快適にご利用いただけるように、リニューアルを行いました。今後とも、わかりやすく最新の情報を掲載するホームページを目指していきます。